

FNCA

アジア原子力協力フォーラム
Forum for Nuclear Cooperation in Asia

大臣級会合の決議に見る

原発位置づけ

アジアでの

の移り変わり

FNCAとは

参考資料①

近隣アジア諸国との原子力分野の協力を効率的かつ効果的に推進する目的で日本が主導する原子力平和利用協力の枠組み

参加国) オーストラリア、バングラデシュ、中国、インドネシア、韓国、モンゴル、日本、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、カザフスタン



原子力委員会が1990年からアジア地域原子力協力国際会議(ICNCA)を開催し、2000年から「FNCA」へ移行。

直近の大臣級会合は2015年12月におこなわれました。大臣級会合での『決議』におけるアジア地域での原発の位置づけが福島原発事故前後でどう変わってきたのか？を並べてみます。

まずは FNCAの始まり時点

以下、肩書きは当時のもの

大島 理森 文部大臣 他参加

2000年11月13日 共同コミュニケ

参考資料②

アジア地域は、世界で最も高い経済成長率を有する地域の一つである。限りある資源と環境保護・保全の必然性に対峙しつつ、そのような成長を維持するためには、原子力技術を効果的に利用することが地域に有益であり得る。(中略)

**本地域は21世紀初頭には米・欧と並び
原子力発電における3極を構成すると予測される。**

参考資料

- ①FNCA HP
<http://www.fnca.mext.go.jp/index.html>
- ②FNCA HP 「第1回アジア原子力協力フォーラム (FNCA) 共同コミュニケ (仮訳)」
http://www.fnca.mext.go.jp/mini/01_minister_com.html
- ③FNCA HP 「第11回アジア原子力協力フォーラム (FNCA) 大臣級会合 決議 (仮訳)」
http://www.fnca.mext.go.jp/mini/11_minister_r.html
- ④FNCA HP 「第12回アジア原子力協力フォーラム (FNCA) 大臣級会合 決議 (仮訳)」
http://www.fnca.mext.go.jp/mini/12_minister_r.html
- ⑤FNCA HP 「第13回アジア原子力協力フォーラム (FNCA) 大臣級会合 決議 (仮訳)」
http://www.fnca.mext.go.jp/mini/13_minister_r.html
- ⑥FNCA HP 「アジア原子力協力フォーラム(FNCA)の新たな役割に関する共同声明」
http://www.fnca.mext.go.jp/mini/16_communica.pdf

2010年11月18日 決議

参考資料③

低炭素社会の実現に向けて、
原子力発電は
エネルギーの安定供給と温室効果ガスの排出の削減の
双方に貢献できる実用的な手段の一つであると
多くの国で考えられており

福島事故後 最初の決議

細野 豪志 内閣府特命担当大臣 他参加

2011年12月16日 決議

参考資料④

東京電力福島第一原子力発電所の事故の情報や教訓を国際社会で共有
 することが重要であると認識し、
多くのアジアの国が、低炭素エネルギー源として
エネルギー安定供給のために
原子力発電を使うことを検討していることを認識

白 眞勲 内閣府副大臣 他参加

2012年11月24日 決議

参考資料⑤

エネルギー安定供給と気候変動の観点から、
多くのアジアの国において、
増大する電力需要に有効な手段として、
原子力発電が見なされていることを認識し、
東電福島第一原子力発電所の事故後も引き続き
原子力発電の導入計画や増設計画が進められている
ことを認識

島尻 安伊子 内閣府特命担当大臣 他参加

2015年12月8日 共同コミュニケ

参考資料⑥

原子力発電の利用が世界的に拡大し続けると見込まれ、
とりわけアジアにおいては
急速な経済成長や気候変動に対する関心の増加により、
今後、数十年に亘り続くという事実に注目

最後に一言

福島第一原発事故を挟んで、基本的な考え方は変わっていません。
 事故から約9ヶ月後、「原発を低炭素エネルギー源として、多くのアジアの国が原発を使おうとしている」
 そして、直近の2015年では「原発の利用は世界的に拡大し続け、それは今後数十年続く」と。

エネルギー基本計画をはじめとして、国内向けには「原発依存度低減」と言っていますが、どう整合性を取るんでしょうか？
 私には矛盾しているようにしか見えません。
 こんな矛盾したことが平気でおこなわれている原因は
 『原発依存度低減』と言う時、「なぜ低減する必要があるのか？」の理由が出てこないことにありそうです。
 つまり“本気”で“ただ”言っているだけ。。。
 まず、この理由を政策を進める人にきっちり語らせることが日本の原発政策のスタートである気がします。